

松風 (コード 7979)

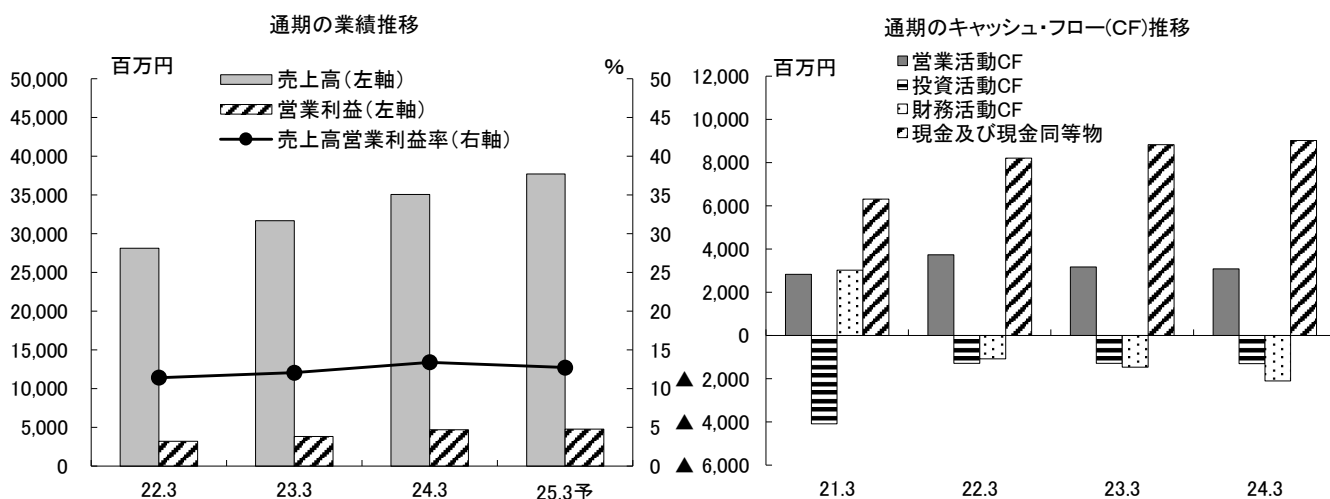
◆通期業績推移(連結) (株式分割を考慮。25.3 予は会社側発表値)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	28,137	3,217	71.6	19.5	3,736	▲1,288	▲1,074	8,208
23.3	31,678	3,824	88.1	28.5	3,170	▲1,290	▲1,457	8,830
24.3	35,080	4,709	103.1	31.0	3,089	▲1,295	▲2,096	9,024
25.3予	37,721	4,800	148.0	44.0	—	—	—	—

◆各決算期の第2四半期業績推移(連結) (株式分割を考慮。25.3 予は会社側発表値)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	13,867	2,000	42.4	6.5	1,544	▲648	▲678	6,627
23.3	15,831	2,237	59.9	7.5	1,450	▲599	▲671	8,822
24.3	16,447	2,155	44.0	10.0	1,180	▲1,017	▲1,601	7,775
25.3予	18,426	2,099	105.3	18.0	—	—	—	—

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)

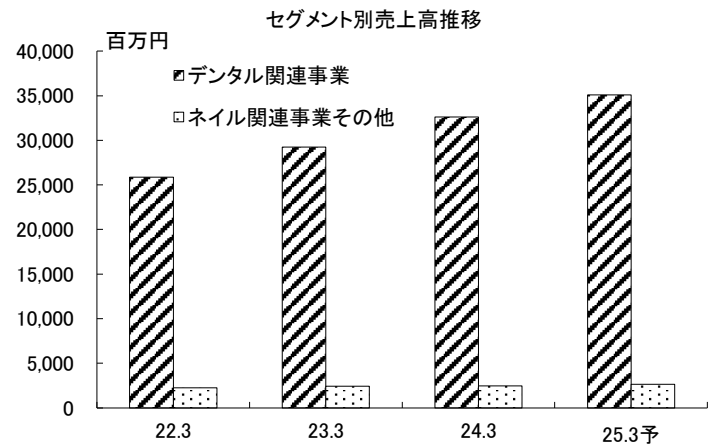


24年3月期の業績概況…24年3月期の業績は、主力のデンタル関連事業が好調に推移したことなどから、売上高が前年度に比べて約11%、営業利益が約23%それぞれ増えた。

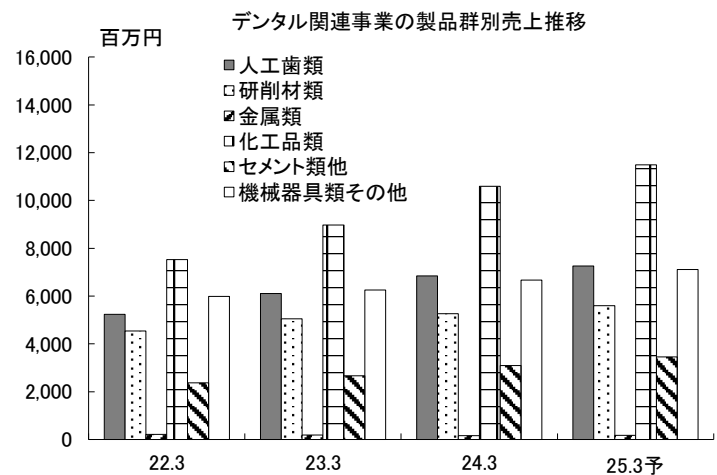
当期の売上高は350億8,000万円(23年3月期比10.7%増)、営業利益は47億900万円(同23.1%増)、経常利益は51億1,800万円(同20.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益(以下、当期純利益)は36億5,500万円(同16.6%増)となった。セグメント別の売上高は、デンタル関連事業が326億2,400万円(同11.6%増)、ネイル関連事業が23億7,300万円(同1.2%増)、その他の事業が8,100万円(同14.3%減)。また、セグメント別の営業利益は、デンタル関連事業が46億8,500万円(同26.0%増)、ネイル関連事業が500万円(同94.5%減)、その他の事業が1,200万円(同134.8%増)となった。

デンタル関連事業の売上高の内訳は、人工歯類68億4,600万円(同12.0%増)、研削材類52億6,200万円(同4.4%増)、金属類1億6,000万円(同14.7%減)、化工品類105億9,200万円(同18.1%増)、セメント類他30億9,400万円(同16.1%増)、機械器具類その他66億6,900万円(同6.5%増)となった。デンタル関連事業において最も売上を大きく伸ばしたのが、充填修復材、CAD/CAMレジブロックなどの化工品類で、原料調達チャネルの拡大や増産体制確立によって供給制約は解消されており、海外中心に積極的なプロモーションを再開したことで売

上高は大幅に伸長した。国内外別で、国内では松風ブロック PEEK 及び周辺材料、機械器具の需要が拡大。海外では、製品需要が旺盛な中国向けに化工品類における充填修復材が大幅に販売を伸ばしたほか、欧州、その他アジアについても好調に推移。同事業の国内売上高は 148 億 9,200 万円（同 4.3%増）、海外売上高は 201 億 8,800 万円（同 16.0%増）となった。ネイル関連事業では、国内では主力のプロ向けジェル製品やアクリル材料が堅調に推移し、海外では台湾で独自ブランド製品がチェーン店を中心に好調に推移したものの、米国でインフレの影響を受けて苦戦。同事業の国内売上高は同 3.0%増、海外売上高は同 1.0%減となった。



キャッシュ・フロー（以下、CF）の状況については、当期末現在の現金及び現金同等物の残高は 90 億 2,400 万円（23 年 3 月期末比 2.2%増）となった。営業活動による CF は、税金等調整前当期純利益 52 億 8,200 万円（23 年 3 月期比 19.8%増）、減価償却費 11 億 6,800 万円（同 20.3%増）、売上債権の増加額 8 億 3,400 万円（同 631.6%増）、棚卸資産の増加額 13 億 200 万円（同 127.6%増）などにより、30 億 8,900 万円の収入（同 2.6%減）となった。投資活動による CF は、有形固定資産の取得による支出 16 億 1,600 万円（同 4.6%増）、投資有価証券の売却による収入 4 億 500 万円（同 73.8%増）などにより、12 億 9,500 万円の支出（同 0.4%増）になった。財務活動による CF は、長期借入金の返済による支出 9 億 6,400 万円（同 196.6%増）、自己株式の増加額 100 万円（同 99.7%減）、配当金の支払額 10 億 9,800 万円（同 50.4%増）などにより、20 億 9,600 万円の支出（同 43.9%増）となった。



25 年 3 月期の業績見通し…25 年 3 月期の業績見通しについては、売上高 377 億 2,100 万円（前期比 7.5%増）、営業利益 48 億円（同 1.9%増）、経常利益 48 億 9,400 万円（同 4.4%減）、当期純利益 38 億 3,800 万円（同 5.0%増）で、売上高のうち国内が 8.6%増、海外が 6.8%増の見込み。セグメント別の売上高は、デンタル関連事業 350 億 7,900 万円（同 7.5%増）、ネイル関連事業及びその他の事業が合わせて 26 億 4,100 万円（同 7.6%増）で、デンタル関連事業の内訳は、人工歯類 72 億 5,400 万円（同 6.0%増）、研削材類 55 億 9,500 万円（同 6.3%増）、金属類 1 億 7,300 万円（同 8.3%増）、化工品類 114 億 9,300 万円（同 8.5%増）、セメント類他 34 億 5,600 万円（同 11.7%増）、機械器具類その他 71 億 600 万円（同 6.6%増）の見通し。

本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。